

どんな学校になって欲しい？－君たちの意見を聴かせて－ 群馬県教育振興基本計画 第3回外部ヒアリング「若者からの意見聴取」ワークショップ

【基本概要】

■目的

「第4期群馬県教育振興基本計画」策定にあたり、当事者である高校生・大学生の意見を聴取し、反映するため。

■日時

2023年8月22日（火）10：30～15：30（予定）

■場所

男女共同参画センター 中研修室

■参加者

県内高校生14名 大学生4名 計18名（参加予定者のうち2名欠席）

その他、群馬県教育委員会事務局関係者、ならびに基本計画策定懇談会の委員数名

■内 容

- 10:30～10:40 開会、あいさつ、事務連絡
- 10:40～12:00 第1部：グループ形成、テーマを学生自身が深掘りする時間
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～13:25 たかまつなな氏「主権者教育」について（※質疑応答含む）
- 13:30～15:20 第2部：意見交換、まとめ発表
- 15:20～15:30 事務連絡、閉会

■意見聴取 テーマ

・メインテーマ：群馬で創り上げたい『教育・学び』の2030年の理想の姿

－選択テーマ① 「未来の学ぶ」をどうしたい？

「学校」に留まることなく「学ぶこと」をどのようなものにしたらよいかを考える

－選択テーマ② 後輩に引き継ぎたい理想の学校の姿は？

主に「学校のあり方」をどのようなもののにしたらよいかを考える

A collage of various photographs showing students and staff participating in a workshop. The photos depict different activities: students sitting at tables, standing in groups, and working on projects. The central part of the page is overlaid with a semi-transparent blue box containing the table of contents.

目次

- 1 開催当日の様子
- 2 成果物1：若者たちの意見・声
(自己紹介：人の成長に必要だと感じることにについて)
- 3 成果物2：若者たちの意見・声
(午前ワーク：教育に関するこれまでの経験・価値観について)
- 4 成果物3：若者たちの意見・声
(午後ワーク：ワークショップテーマに関する意見について)
- 5 成果物4：若者たちの意見・声
(振り返り：2030年の教育に向けての意見について)

1 開催当日の様子

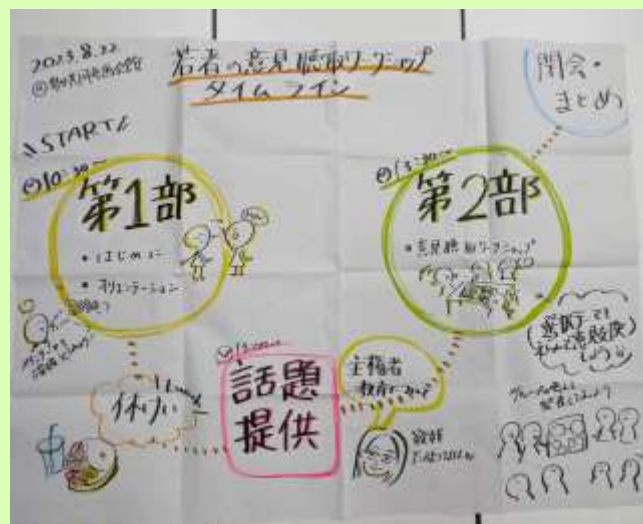
アイスブレイク



午前ワーク



全体の様子



午後ワークの様子



2 成果物1：若者たちの意見・声

(自己紹介：人の成長に必要だと感じることにについて)

『人の成長に必要だと思うこと』に関して、8つの項目の優先順位を考える。

①学び合う仲間、②挫折や葛藤、③基礎的な知識の習得、④指導者やコーチ、
⑤目標、⑥チャレンジ精神、⑦自ら行動すること、⑧自分の個性・可能性

NO	①学び合う仲間	②挫折や葛藤	③基礎的な知識の習得	④指導者やコーチ	⑤目標	⑥チャレンジ精神	⑦自ら行動すること	⑧自分の個性・可能性
1	7	8	1	6	4	3	2	5
2	5	2	6	7	4	1	3	8
3	7	2	4	8	1	3	5	6
4	4	6	2	5	3	1	7	8
5	3	7	4	5	6	1	2	8
6	6	4	5	7	2	1	3	8
7	5	6	7	8	3	4	2	1
8	4	2	5	6	3	1	7	8
9	3	6	1	4	2	8	5	7
10	4	5	1	8	7	3	2	6
11	3	4	2	8	7	5	1	6
12	6	4	3	7	8	5	1	2
13	2	3	7	5	1	6	4	8
14	1	7	3	5	6	4	8	2
15	5	7	6	8	2	3	1	4
16	3	8	5	7	6	1	4	2
17	6	4	3	5	2	7	1	8
18	7	8	1	6	4	2	3	5
19	4	2	7	8	5	3	1	6
20	4	7	6	8	5	1	3	2
平均	4.45	5.1	3.95	6.55	4.05	3.15	3.25	5.5

※「平均」は各項目の数字の合算を参加人数（20）で割って算出

※「平均」の数値がより小さい項目に対して、参加者は優先順位を高いと回答していることになる。

3 成果物2：若者たちの意見・声

(午前ワーク：教育に関するこれまでの経験・価値観について)

NO	①あなたがぐーんと成長した経験や学びは？	②これまでの学校教育でよかったと思っていることは？	③こういう学びの機会があったらいいなと思ったことは？	④これは変えてほしいなと思っていることは？
グループ1	国際交流のコミュニティに、招待されて参加したこと	高校でテーマごとに大学の授業を体験できた	<u>もっと海外の人と関わる時間を学校で創りたい</u>	校則の「高校生らしい髪型」で何？決めてほしい
	経験というより生徒会として活動してきた3年間の過程	課外活動を応援してくれる環境	<u>生徒主体の学び</u>	〇〇を学びたいなら〇〇学部といった先生の指導（興味のアプローチ手法を限定しすぎている）
	教育プログラムを運営した時に教育を体系的に捉えることを学んだ	講演会みたいな形でリーマントラベラーの方の講演をきいたこと	文学	受験が目的になった学習
	同好会を一人でひっぱるのではなく、他人の成長を大切にするリーダーシップ経験	比較的どこでも同じような教育を受けられる	学校外の専門家等から教えてもらえる機会	学びそのものを楽しんでいきたい
	生徒会企画		地域の他学校の生徒会と交流する機会。他学校との交流差別化	教室の環境
	文化祭での企画経験		若者団体（選挙や校則問題などにアプローチしている団体）同士で交流する機会づくり	選挙と模擬選挙といった主権者教育。もっと日常に政治や選挙を感じられる活動
			自主性が必要な授業	校則とか生徒の意見すら通してもらえない。意見交換の場をもっと作ってほしい
			子どもが主体的に活動できる時間・イベントをつくってほしい	
			自分で動く活動	

3 成果物2：若者たちの意見・声

(午前ワーク：教育に関するこれまでの経験・価値観について)

NO	①あなたがぐーんと成長した経験や学びは？	②これまでの学校教育でよかったと思っていることは？	③こういう学びの機会があったらいいなと思ったことは？	④これは変えてほしいなと思っていることは？
グループ2	中学1年生の時、遅刻しすぎて顧問に怒られたこと	授業をある程度、自分で選択できること	<u>生徒が自由に計画して使える時間がほしい</u>	クッションOK
	中学校の部活動。すごくきつかったけど、忍耐力・計画性・人間力がついた	高校で、実際の現場が見れる職場見学をしたこと	資格受験への金銭的サポート 受検料がめっちゃ高いから資格を取るのをあきらめてしまう人がいるから。	いすのかわりにヨギボー
	中3の夏休みに、「やりたくないことWEEK」をやってみたこと	高校で、先生がいつでも時間があれば補習してくれること	課外活動にかかる費用の金銭的サポート	地域に空き地や空き家が多いこと
	中1の時、初めて一人で電車で東京に行った	高校の先生が、生徒がやりたいと言ったことをサポートしてくれたこと	資格を挑戦する時に、専門の先生のはずなのに教えられないということが多かったから専門学校に通わせてほしい	勉強してよかったと思えるテストをつくってほしい
	中1のとき、クラスで起きた問題を、先生が上手に共有し、考える時間を作ってくれた	高校に入って、実習という実践的な教科が増えたこと	戦争、公害など近年、風化されつつある問題をピックアップする授業（被害者・対象者の年代は高まっていく一方だから、HRで必ず行う内容をつくる）	私たちも頑張るので、テスト範囲を早めに出してほしい
	中学生のとき、建築という目標を見つけたこと	小4の時に入院していて学習が遅れた時、担任が残って教えてくれたこと	<u>自然とのふれあいを大切にできるような学び</u>	スマホ禁止
	中2のとき 身長20cm伸びた		<u>社会に出た後、よく「学校では教えてくれない」と言われることを教えてほしい</u>	冬の半そで強制（強制するなら）先生も半そでになってほしい
	目標に向けての勉強を始めた時		個人向け授業	
	友だちと中華を食べに行き、量がめっちゃ多かったけど、負けたくなくて、無理にでも食べた！それ以降、沢山詰め込めるようになった		勉強ができる人だけ進んで、出来ない人がお置いて行かれてしまうので 単元ごとに動画を撮ってアップしているアプリの活用	

※下線になっているところは、特に必要だと感じているもの

3 成果物2：若者たちの意見・声 （午前ワーク：教育に関するこれまでの経験・価値観について）

NO	①あなたがぐーんと成長した経験や学びは？	②これまでの学校教育でよかったと思っていることは？	③こういう学びの機会があったらいいなと思ったことは？	④これは変えてほしいなと思っていることは？
グループ3	級長や生徒会長をやった経験を通じてリーダーシップを向上させることにつながったこと	授業中で問題を解いていた時に、周りの人と相談する時間があつたのでコミュニケーションを深められた。教え合うことで新たな気づきがあつた。	人と人との触れ合える場をもっとつくってほしい グローバル	地域と学校の関係がよくない
	進路を決める際の進路相談所	グループワークをする時間	<u>主体性を磨く</u>	勉強しやすい環境づくり
	課題研究。社会が今、抱えている問題を自分で発見し、どうすれば解決できるかと考えることで社会情勢を理解できた		英語を学ぶ機会をもっと増やすべき →英会話など、授業で英語で会話する機会を増やす	受検ありきの学び（ただの通過点になっている）
	成功体験があつたとき（模試で高得点とれた）	‘日本語教室’で勉強の遅れを取り戻せた	<u>校内だけで完結しない学び</u>	学校と地域の壁を低くしてほしい（地域との関わり）
	部活で組織のあり方に向き合った経験	中高大連携授業のような、カリキュラム外の学び	海外留学・英検推進	進路の強要
	生徒会での活動経験 またリーダー経験		社会に出た時に、役立つような実践的なカリキュラムをもっと取り入れてほしい	ブラック校則削減
	専門教員による学び		<u>企業など社会人として経験をつんでいる方などとのお話（インターンだったり）</u>	課題に縛られて自発的な学びがしにくい
	ボランティア活動など外部の方と関わる場があること			対面での学習 第一主義

3 成果物2：若者たちの意見・声 （午前ワーク：教育に関するこれまでの経験・価値観について）

NO	①あなたがぐーんと成長した経験や学びは？	②これまでの学校教育でよかったと思っていることは？	③こういう学びの機会があったらいいなと思ったことは？	④これは変えてほしいなと思っていることは？
グループ4	合唱コンクールで指揮者になったこと（ただの指揮者ではなく学年をまとめる）	苦手なことも学ぶ必要があったこと	<u>将来について考える時間</u>	学生の意見を尊重し、個人個人に合わせた教育を実現してほしい
	学級委員や生徒会として人のために動いた事	自分にあった職業を見つける授業をとってくれたこと	<u>適正職業</u>	学校全体の活発さ
	人に見られるような経験をしたこと	色々な教科を学ぶことで自分の得意・不得意を見つけられる	<u>どんな職業が合っているか考える時間</u>	学びたい授業を自由にとれるようにしてほしい
	小学生の時に勇気を出してピアノの伴奏のオーディションを受けたこと。『挑戦すること』を学べた。	PCなどを使った自ら学びを深める授業	生徒が先生として授業をする	ブラック校則 厳しすぎる校則
	面接練習	勉強習慣が身についた事	自分の夢をかなえることができる人の体験談をきく場をつくる	授業中に先生が生徒を指名して答えさせる
	高校受験	科目選択	自分のキャリアを考える機会	
	大学の授業 遊び場を研究する先生の話の伺って興味がわいたとき		<u>多様な人と出会う機会</u>	
	語学研修 新しい社会を見るきっかけになった		<u>職業のことをもっと知る機会</u> <u>これからの職業について考える機会</u>	
			ただ覚えることを学ぶだけでなく楽しいことも教えてほしい	

※下線になっているところは、特に必要だと感じているもの

3 成果物2：若者たちの意見・声 （午前ワーク：教育に関するこれまでの経験・価値観について）

NO	①あなたがぐーんと成長した経験や学びは？	②これまでの学校教育でよかったと思っていることは？	③こういう学びの機会があったらいいなと思ったことは？	④これは変えてほしいなと思っていることは？
グループ5	水泳 優勝した経験	体育祭	進路について	つまらない授業
	水泳 全中出場	他校との交流	<u>文理融合型</u>	話を聴くだけの授業
	水泳 群馬の合宿に行く	大学の授業を模擬体験	<u>コミュニケーション系授業</u>	髪型や服装を規定する校則
	上毛新聞社主催の企画に参加（始動人ジュニアキャンプ）	〇〇大学見学会 → モチベ向上	地域の人の声	衛生環境（トイレ等）
	通学	端末導入	<u>外部と連携した授業</u>	
	生徒会（中学）	小3 総合 栄養について調べ学習		
	部長経験	体育祭		
	生徒会経験	合唱コンクール		

4 成果物3：若者たちの意見・声

(午後ワーク：ワークショップテーマに関する意見について)

メインテーマに基づき、以下の選択テーマ1か選択テーマ2を、
参加者自身が選んで、意見を出していくワークショップを行った。

メインテーマ

群馬で創り上げたい『教育・学び』の2030年の理想の姿

選択テーマ1

「未来の学ぶ」を
どうしたい？

「学校」に留まることなく
「学ぶこと」をどのようなものに
したらよいかを考える

選択テーマ2

後輩に引き継ぎたい
理想の学校の姿は？

主に「学校のあり方」を
どのようなものにしたらよいか
を考える

グループ 1

□ 選択テーマ 1 : 「未来の学ぶ」をどうしたい？

☒ 選択テーマ 2 : 後輩に引き継ぎたい理想の学校の姿は？

【ビフォー】

自主性を発揮する場面が制限されている

【アフター】

自主性を発揮する場面が多い学校にする

【キーワード・出てきた意見】

①学校で学ぶのは何のため？

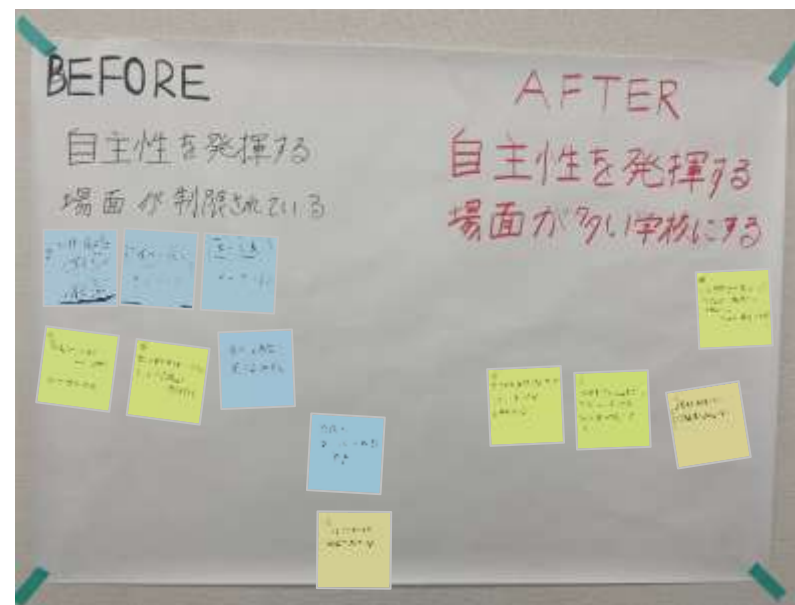
- ・問題提起する
- ・個人と社会
- ・アイデンティティ
- ・民主主義

②18歳までに身につけておきたい力や姿勢は？

- ・自分が特に興味があって何がやりたいのかを見極めるため
- ・自分が社会にやりたいことに『やりたいことができる』
『自分を見つける』ために学ぶ
- ・自分が将来何をやりたいのか、しっかりと『軸』を定めておく
- ・興味のあることの理解度を高めるため

③今の学校の何を、どんな風に変えたらいい？

- ・もっと将来や仕事について、より身近に現実化できるような学びの場をつくる
- ・『自分』というものをしっかり知る 自分で調べられる



グループ2

□ 選択テーマ1：「未来の学ぶ」をどうしたい？

☒ 選択テーマ2：後輩に引き継ぎたい理想の学校の姿は？

生徒が中心となって考え、先生が生徒のサポートをし、お互いに信頼し合うような学校を目指す。

【ビフォー】

■現状のよいところ

- ・入学してから学びたいことを決められる ・給食制 ・日常が平穩 ・就職率が高い
- ・生徒の考えを肯定してくれる先生がいるので、やりたいことができる
- ・生徒が考えて授業を選ぶため好きなことを学べる
- ・男子が多いため仲がよく素を出している人が多い

■現状の改善点

- ・学校の中が複雑すぎる ・よくわからない校則 ・校則があいまい
- ・指示待ち・生徒と先生の信頼関係が主従関係になっている

【アフター】

- ・先生頼りではなく、生徒同士で協力し合い、問題を解決していける関係を築ける学校にする
- ・すべての生徒にとって生きやすい居場所にする
- ・生徒がルールを守るような学校
- ・生徒が考え、行動できる環境に変える。

【キーワード・出てきた意見】

①学校で学ぶのは何のため？

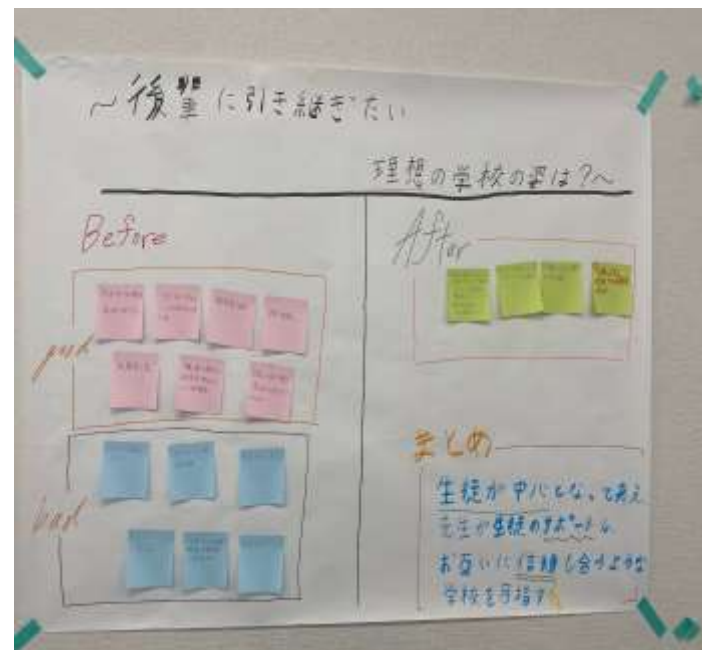
- ・学問の基礎的な知識や社会での基礎となる知識を得るため
- ・将来の選択肢を増やすため
- ・個人ではなく集団で過ごすことで人間関係を作っていくため
- ・社会で必要なことを人と関わり合いながら学ぶため
- ・必要最低限の常識を平等に学ぶため

②18歳までに身につけておきたい力や姿勢は？

- ・自己表現をする力 ・様々な場面で対応できる力
- ・責任をもった決断をする ・どんな状況でも臨機応変に対応できる力
- ・誰かのために行動しようとする姿勢

③今の学校の何を、どんなふうに変えたらいい？

- ・生徒が中心となって考え、先生が生徒のサポートをする
- ・互いに信頼し合うような学校
- ・先生と生徒の信頼関係が強い
- ・やりたいことを生徒たちが計画して実行できる学校にしてい



グループ3

☒ 選択テーマ1：「未来の学ぶ」をどうしたい？

☐ 選択テーマ2：後輩に引き継ぎたい理想の学校の姿は？

【ビフォー①】社会とのつながりを感じられる学びの楽しさがない。

【ビフォー②】自分の個性を発揮できない。

【ビフォー③】人との関わりの場が無く、意見交換できない。

【ビフォー④】学校システムに依存している。

【アフター①～④】

・リアルでの関わりの場を増やす。

・横（学校やコミュニティ同士）や縦（年齢）の広がり。

・ネットでの関わりを増やす。（自分と違った境遇の人との関わり）

→自分のための学びと他者のための学び

【キーワード・出てきた意見】

①そもそも「学ぶ」って、なんのため？

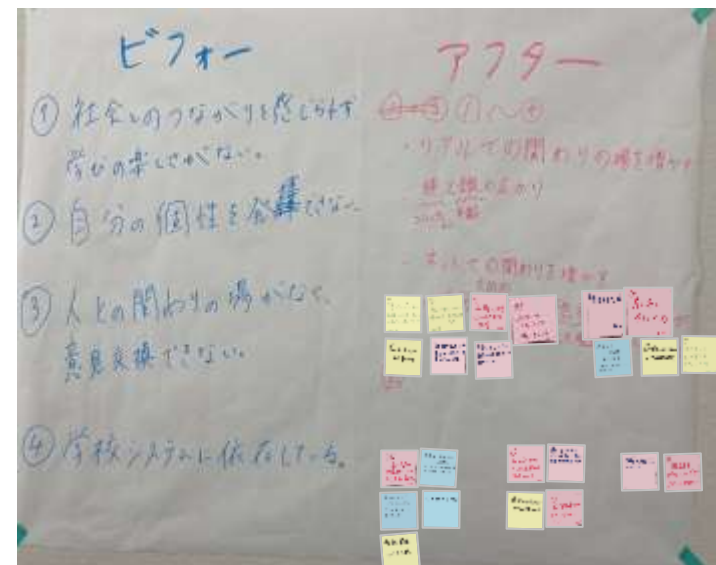
- ・学ぶことを通じて、自身の社会・人とのつながりを広げる
- ・社会をより良くするため
- ・思考するため
- ・考え方を学ぶため
- ・自分を日々アップデートしていくため
- ・自己実現するため
- ・自分の生涯を悔いのないように生きるため

②「喜び」「楽しい」と感じてきた学びは、どんな時に、どんなことを？

- ・学んできたことが活かされた・応用できる時
- ・知識を活用している社会に出会った時
- ・学んだことから自分の考えを創り出せたとき
- ・社会とのつながりを知った時
- ・達成感 → 目標達成の時
- ・新たな発見 → 自分の知らないことを知る時
- ・自分の知らないことを発見する学び
- ・授業でやったことが製図など、実践的な場面で活かされたとき
- ・同じ興味分野の人に出会った時

③「喜び」「楽しい」を感じる学びを続けるには、どんなことが必要？

- ・先生の余裕を増やすこと
- ・主権者教育。「変わること」を学校ばかりに求めすぎない
- ・たくさんの人とディベート等を活用して意見を交換し合うこと
- ・学びを続けたいという仲間をつくる
- ・自分の意見は大切、という思考を育むこと
- ・努力し続けること → たとえ困難にぶつかっても、それをどうすれば解決できるのかを追求する
- ・主体的な行動
- ・なるべく多く人と話す、関わる機会をつくる



グループ 4

☑ 選択テーマ 1 : 「未来の学ぶ」をどうしたい？

□ 選択テーマ 2 : 後輩に引き継ぎたい理想の学校の姿は？

【ビフォー】

- ・やりたいことができない ・強要される
- ・一方通行の教育（先生の話聴くだけ、板書をノートに写すだけ）
- ・成果を感じられない（達成感が無い）
- ・意見が通わない

【アフター】 学ぶとは・・・やりたいことを実行できる力をつけ、自分を表現すること。

■ 楽しかった学びの経験 → 達成感 目に見える成果

- ・できなかった問題を自力で解けた！
- ・好きな漢字の分野で漢検準 2 級を取得した！
- ・グループワークで意見交換出来た！

■ そのためには、

- ・喜びを経験できる場・キッカケを増やす！
- ・例えば学校で行事などの開催（生徒が内容を考える）
- これら成功体験が更なる学びへツナガル！

【キーワード・出てきた意見】

①そもそも「学ぶ」って、なんのため？

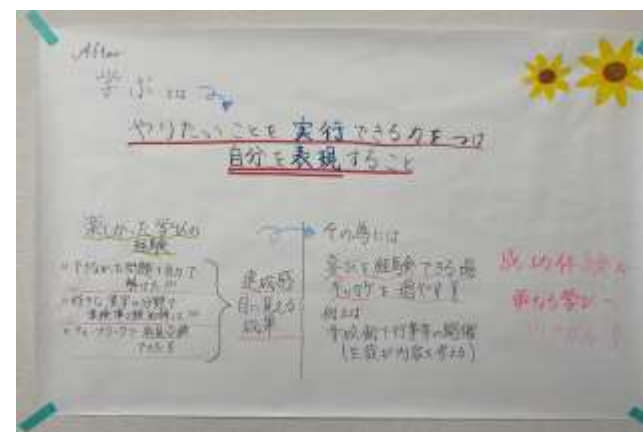
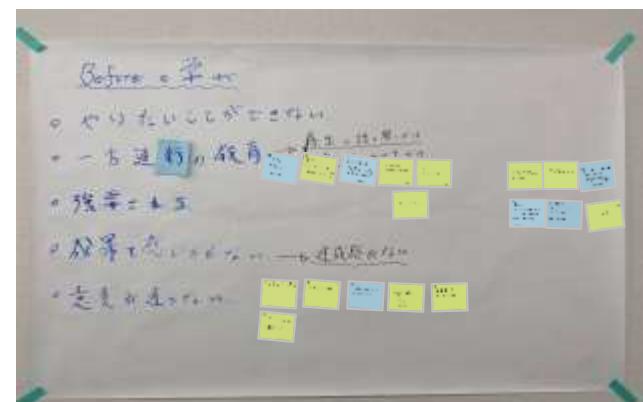
- ・自身の知識・スキルの向上
- ・自らが進んでより楽しい人生を歩むため
- ・やりたいことを実行できる力をつけるため
- ・将来の幅を少しでも広げるため
- ・自立して生きていくため
- ・自分を表現するため

②「喜び」「楽しい」と感じてきた学びは、どんな時に、どんなことを？

- ・できなかった問題を何時間もかけて自力で解けた時
- ・部活動でチームワークを学んだ時
- ・漢字が好きで、漢検準 2 級という証明として出た時
- ・企業等実務経験がある方と話したり体験する（インターン、職場体験）
- ・グループワークでの意見交換
- ・わからなかったことが理解できる時

③「喜び」「楽しい」を感じる学びを続けるには、どんなことが必要？

- ・成果がすぐ感じられる
- ・達成感が大きい
- ・「学び」がつながる
- ・「達成的な学び」をつくる
- ・一方通行の学びではなく言い合える学び
- ・喜びを経験するきっかけを増やす
- 学校側で行事などを開催する喜びを得るための意識を向上させる
- ・主体性をもって取り組む学び



グループ5

□ 選択テーマ1：「未来の学ぶ」をどうしたい？

☒ 選択テーマ2：後輩に引き継ぎたい理想の学校の姿は？

【ビフォー】

- ・制限されることが多くて、生活しにくい
- ・生徒ではなく、学校の先生が主体になっている
- ・自分の意見が言いづらい
- ・生徒の生の声が学校に反映されない
- ・生徒中心になる場がない
- ・生徒が行動をおこそうとしても、先生にとめられてしまう
- ・生徒が現状を変えるための『場』がない

【アフター】

- ・みんなの悩み・意見を直接言える場をつくる
- ・生徒が主体となって行事の運営ができる
- ・生徒の『○○をしたい！』という意見に対して先生は否定しない
- ・行事などの時間のやることを生徒が決められる
- ・生徒も学校の授業をつくれるようにしたい
- ・職員会議に生徒が参加できるように
- ・生徒総会を生徒の希望で開催できるようにそのために
…人と人とが触れ合える場を作る

【キーワード・出てきた意見】

①学校で学ぶのは何のため？

- ・学校は生活する上で必要になる
- ・なりたい自分に近づくための可能性を広げるため
- ・将来の夢に近づけるようにするため
- ・可能性を広げる場にするため
- ・交流

②18歳までに身につけておきたい力や姿勢は？

- ・主体性
- ・社会性
- ・人間性
- ・社会適応能力
- ・一般常識
- ・社会で通用するような人材を磨くため
- ・1人で生きていける力
- ・コミュニケーション能力



5 成果物4：若者たちの意見・声 （振り返り：2030年の教育に向けての意見について）

NO	群馬で創り上げたい『教育・学び』の 2030年の理想の姿は？	そのために、私は何をしてみる？何ができる？
1	主体性を生み出せる学びの場	・少しでも自分たち（生徒）が企画できる行事を増やす ・声を上げていく
2	意見が尊重され、行動しやすく、学びやすい教育に	・意見をはっきり伝える ・周りの意見を聞きながら活動をする
3	先生が支えてつくる 「楽しい」 学びを得られる場	・積極的に自己表現することを心掛ける ・達成感を味わえるよう、学習面で努力する ・今日のことを忘れず、いつか自分に活かす
4	主体性を重視し、意欲的に学べる教育、またその環境が整っている	生徒会として、生徒が行動したり、意見交換することのリスクを考えなくていい学校の雰囲気を作る
5	生徒だけ、または先生だけではなく、あくまで生徒を中心に先生がサポートする 生徒が考える環境を多く与える教育	まずは自分から考えて行動して、自分の行動で他の人も巻き込めるようにしたい（何をすれば良いか考える、生徒の意見を集める）
6	教育を受ける側、する側、関わるすべての人が日本で、群馬の教育に関わってよかったと思えるような、気持ちよく過ごせる教育の場であってほしい	生徒として、生徒会長としても、自分やみんな、学校のためになることをよく考え、行動できるようにしたい
7	先生中心ではなく、生徒中心の学校へ	・生徒の意見を集めてみる ・先生とのより良い関係を築く
8	先生ではなく生徒が主体的に動く学校	生徒のやりたいこと、意見、悩みを言語化できる場をつくる、先生の協力のもとに。
9	主体性を育てる学校づくり	現状の問題点をまとめる、先生方の行事運営お手伝い、意義の理解できる校則はしっかり守る
10	生徒が主体性を持てる学校	今、自分が目を背けていた学校の課題にもう一度目を向けて、生徒の声を学校に反映させる
11	自分たちで考えることが実際に現実でおこせるような姿になってほしい	今の問題を多くの人に伝え、全体を変えていきたい。

5 成果物4：若者たちの意見・声 （振り返り：2030年の教育に向けての意見について）

NO	群馬で創り上げたい『教育・学び』の 2030年の理想の姿は？	そのために、私は何をしてみる？何ができる？
12	自分を知り、自分が何に興味があって、 何をしたいのかが学べる学校	・偉い人に相談する（？）→新しい場ができるよう話し合う ・同じように悩んでいる子がいないか探す
13	「民主主義」を体現する学校	・子どもの意見反映の重要性を心に留めて、賛同する場をとる。 ・子どもの意見反映が促進されるような雰囲気を作る。
14	自分の考えを表明して、社会につなげていく	自分の意見を持ち、発表できる機会を大切にする。 →相手の意見について、納得するだけでなく、 「なぜ」「どうして」と次の学びへ発展させていく
15		
16	手段としての学びではなく、自分磨きのための学びへ	・ただ学ぶだけではなく、それを自分の生活にどう活かせるかを考える ・主体的・積極的に行動する
17	‘学びの環境へ自ら適切にアプローチできる社会’	・今やっている若者団体で活動が続ける （ジェンダー、主権者教育、生徒会連盟） ・主権者教育について他国の現状を知る、現状の問題点を探す
18	リアルでの人との関わりから、自分一人ではできない学び を得ること	・自分と将来の目標が似ていたり、考えが近い人を見つけて、 声をかけてみることに。 ・他人の考えを受け入れること ・ネットだけに頼り過ぎないこと
19	個人・地域（町内会・自治会レベル）・学校・会社といった それぞれのコミュニティ内で学び・教育をとどめるのではなく、 ヨコとタテのつながりを広げ、各々の社会関係資本を豊かにする とともに、そのつながりを通じて、カリキュラムでは表すことの できない学びの機会が実現できる姿。	普段、学校で生活するだけで生まれる関係だけでなく、 自らさまざまな地に飛び込んで、自身の価値観を豊かにする